財団の活動

企業経営者と知事との意見交換会を開催しました!

公益財団法人かがわ産業支援財団では、今回で19回目となる企業経営者と知事との意見交換会を1月30日、高松市内のホテルで開催しました。

今回は、昨年9月に池田知事が就任されたことを踏まえ、県内の幅広い分野(「ものづくり」、「食品関連」、「サービス・建設」、「スタートアップ(ベンチャー)」、「IT関連」、「農業の6次産業化」)でご活躍されている企業経営者12名の方々にお集まりいただき、原材料価格の高騰や人手不足などの経営環境の中での取組みや今後の計画・展望などを交えながら活発な意見交換が行われました。

株式会社 アムロン

代表取締役会長　宮本 吉朗

事業概要　鉄鋼製品、環境浄化、産業機器、人材派遣

資材価格の高騰や中国のサプライチェーンの分断により、取引先にも多大な影響が生じたが、「お客様と一緒になって考える」ことで乗り切ってきた。カーボンニュートラルやSDGsは、一企業だけで取り組むことは難しいため、地域を挙げて産学官で取り組む必要がある。例えば、弊社はソーラーパネルの産廃処理に取り組んでいるが、このような地域レベルの課題は多々ある。また、人材獲得が難しいが、地元企業への後押しのような明確なテーマで支援をいただきたい。

知事　CO2の排出削減に向けた世界的な流れは、後戻りはしないと思われる。県も、カーボンニュートラルに向けて、削減プログラムを示し、設備投資等に対しては必要な支援を考えたい。また、ソーラーパネルのリサイクルは、ビジネスの新しい分野になると思われるので、ぜひトライしていただきたいし、その際には支援したい。

四国塗装工業 株式会社

代表取締役　近澤 裕明

事業概要　信頼されて50年「心のモノづくり」企業

香川県は、自然に恵まれた優れた地域であるが、他の地域と同様に人口減少が進んでいる。これは雇用環境にも影響があると思う。健全な雇用環境の構築には、事業者が自身を律することが最も重要であり、当社では、今年度から、社員がそのライフステージ等に応じて残業時間を選択できる新たな年俸制度を導入した。「ブラック企業」に対しては、行政による取締りも必要であるが、良い経営者を育てるための教育などへの取組みもお願いしたい。

知事　雇用環境が重要だという御意見は、本当にそのとおりと思う。過去に建設業界では、人材確保が非常に困難な時期があったが、給料や休暇の水準の改善に取り組むことにより、若い人の入職状況が変わってきた。企業経営者の方々には、ぜひこの面でもリードをしていただければ大変ありがたい。

セトラスホールディングス 株式会社

代表取締役社長　木下 幸治

事業概要　グループ経営管理、コンサルティング事業

国内外で高いシェアを有する化学品原薬事業と医薬品事業を展開してきた。世の中が激変する中、将来を見据え、既存事業の強化と新規事業の立上げに重点をおくべきと判断し、昨年10月にホールディング化した。創業以来、オリジナリティーを大切にすることを会社の精神としており、研究機能をホールディングスの中に残した。今後、これをイノベーションセンターとして立ち上げる予定であり、グループの成長エンジンにしたいと考えている。

知事　新しい技術、地球に優しい技術を紹介いただき、また、今後さらに研究体制を強化されるとのことであり、非常に心強く、ますます御活躍をしていただきたい。県の組織には、産業技術センターや食品研究所、農業試験場などの研究施設があり、それぞれ、具体的なテーマの研究に地道に取り組んでいるので、ぜひ活用していただきたい。

徳武産業 株式会社

代表取締役社長　徳武 聖子

事業概要　介護シューズ製造メーカー

30年ほど前に開発した高齢者・障がい者向けの靴を製造販売しており、高齢化が進展する中、高齢者の事故の大半を占める転倒・転落事故を減らそうと、さらに商品開発を進めている。今、人手不足の問題が大きくなっているが、中小企業は大企業と比べて知名度が低いこともあり、香川の子どもたちに、できるだけ早い時期から県内企業のことを知ってもらうため、小学校から大学まで、県内企業の知名度を上げるような取組みをお願いしたい。

知事　地域間競争、特に大都市との関係で人材を確保していくため、早い段階での働きかけが重要である。県では、学生に対して県内企業の情報提供を行っているほか、県内の高校生に対して、地元就職の利点や県内企業の魅力を学ぶ出前授業などを実施している。なかなか決定打はないが、企業の方々と一緒に県内企業の魅力を伝えていきたいと考えている。

サヌキ畜産フーズ 株式会社

代表取締役社長　増田 浩

事業概要　冷凍食品製造業（とんかつ、チキンカツ等）

豚肉を中心に養豚等の「川上」から販売等の「川下」まで幅広く事業を展開している。原材料等の高騰対策として、値上げや自社商品の展開、プラントミートの開発・製造販売、設備投資などの対策を講じているが、人手不足の問題は切実であり、海外の人材に来てもらえるよう、全国統一の最低賃金の導入も視野に入れてもらいたい。また、オリーブ夢豚の生産に係る飼料価格の高騰も課題である。香川の畜産業の存続のため、引き続き経済的な支援をお願いしたい。

知事　御提案の全国統一の最低賃金制度は国内の労働者が念頭にあり、現行の最低賃金も行政だけで決定する仕組みになっていないため、すぐに対応することは難しいが、外国人労働者の賃金水準は地域の競争力であり、どのような支援ができるか考えてみたい。香川の畜産業を守るため、引き続きしっかりと現状を見て、追加的な支援等を考え、取り組んでいきたい。

吉原食糧 株式会社

代表取締役社長　吉原 良一

事業概要　製粉・倉庫業

東京でもさぬきうどんが定着し、若者向けの「東京型さぬきうどん」が好評で今後が楽しみである。昨年、県内初の強力小麦「はるみずき」が収穫されたが、全国各地の小麦販売の競争が高まっており、「さぬきの夢」も含めてたんぱく質含有量の品質管理が重要である。県も更にフォローしてほしい。当社では美味しさと健康機能を両立したヘルスケア分野の商品を今後も増やしたいと考えている。製造業は技術習得の積み重ねが必要で、単に転職を奨励するかのような風潮があるが、産業別に議論すべきである。

知事　東京でも、さぬきうどんの評判が高いというのは嬉しい状況であり、さらなるPRを行いたい。小麦の品質をめぐる競争の激化は、県の農業試験場にしっかり伝え、品質で勝てるように力を入れてまいりたい。香川県の産業の土台を担うのは、一次産業、二次産業であり、これらを担う人材を育てていくべきと考える。

株式会社 岡モータース

代表取締役　岡 宏治

事業概要　新車中古車販売、キャンピングカー製造販売

キャンピングカーが全売上の70%を占めているが、今後は、リモートワークカーや事務室カーなど新たな取組みに挑戦したい。人材、特に若年層の人材不足を痛感しており、これからも外国人材を活用したい。外国人雇用の増加は、香川県の定住人口の増加にも貢献できることから、支援をお願いする。また、「クルマ旅ユーザー」を呼び込むため、ハード、ソフト両面の情報発信をする必要がある。日本の自治体でも災害対策としてキャンピングカーを保有し、利用していただくことを提案する。

知事　外国人材は、本県経済に必要不可欠な人材であり、県では外国人雇用等に関する相談窓口の運営など県内企業における外国人材の受入れ支援を行っている。入管手続きなどいろいろなサポートが必要になると思うので、具体的な要請をいただきながら、外国人材、特にエンジニアをしっかりと拡充するため、香川に来ていただく上での障害を取り除くための支援を行いたい。

株式会社 富士クリーン

代表取締役社長　馬場 太一郎

事業概要　廃棄物に関する事業運営

国内初の縦型乾式メタン発酵施設を整備し、有機系廃棄物からメタンガスを作り出し、自社工場で活用している。近い将来、廃棄物から得られた再生エネルギーを地域農業の熱源として使用できるよう実験を進めており、新たな農業スタイルの構築に向け、農業関係者向けの補助制度を考えていただきたい。また、災害時には、災害ごみへの対応を四国内で円滑に進めるため、行政と企業の枠組を超えた連動型BCP体制を創りたいので、御協力をお願いしたい。

知事　これからは、一次産業や二次産業は海外ではなく、国内を志向しなければ、香川県も含め日本全体が立ち行かなくなるので、香川県における一次産業、二次産業の力をつけていきたい。災害ごみについては、ありがたい御提案であり、実際に災害が発生した際、県内でどのように受け入れてもらうのかなど、考えていきたい。

株式会社 禾

代表取締役　中條 淳子

事業概要　アレルギー対応のお米のクッキー製造・卸・販売

食物アレルギーの方も楽しめる米を主原料とした焼菓子の製造を7年ほど前に事業化した企業である。コロナ禍を契機に、市場の動きが大きく変わり、企業も変革が求められているが、スタートアップや零細な企業にはマンパワーや資金が十分ではないため、支援をお願いしたい。また、デジタル技術が急速に進歩する中、事業への影響や必要な準備については、情報収集、調査にも限界があるので、この分野で活躍されている方々の見解をお伺いできる研究会などを設置していただければありがたい。

知事　中小企業はスタートアップに限らず、将来の香川を引っ張る存在だと考えている。販路開拓にはかがわ産業支援財団を、技術開発には財団のほか食品研究所など県の施設もあるので、活用していただきたい。Setouchi-i-Baseには、デジタル技術を活用した新しいビジネスに取り組む方々が集まっているので、こちらで交流していただくと、発想が広がるのではないかと思う。

株式会社 未来機械

代表取締役社長　三宅 徹

事業概要　ソーラーパネル清掃ロボット等
機械製造販売

香川大学工学部の修士課程在籍時に起業した。世界で初めて「ソーラーパネル清掃ロボット」を開発し、現在、ドバイで約60台が稼働している。工事現場での建設用ロボットや畜舎の洗浄ロボットの要望も寄せられており、地方から世界に向けて展開したい。香川の地からスタートアップをさらに創出するため、県のインキュベーション施設への入居に係る審査期間の短縮、機械系やものづくり系のスタートアップ向けに簡単な組立てスペースを備えた施設の整備を検討していただきたい。

知事　スタートアップの場合、場所の確保が重要であると聞いており、県でもすでに取り組んでいるものをさらに拡充していきたい。また、インキュベーション施設への入居に時間がかかるという点については、まずは、やってもらうということを優先に考えるのが重要だと思うので、柔軟に運用していきたい。

株式会社 ゴーフィールド

取締役会長　森田 桂治

事業概要　大手企業、行政などの
ウェブサイト制作他

この2年間、国の補助金を活用してデジタル化基盤の導入を進める企業が増えた。当社ではプロジェクトチームを作り、1社でも多く攻めの経営に転じられるようサポートをしている。今や、テレワークやオンライン会議が相当に普及し、メリットを感じている方が非常に多いが、その一方で香川県への来訪者の減少にもつながりかねない。香川県の魅力をアピールするコンテンツを増やしていくことで、香川県の観光振興の一助になればと考えている。

知事　今後、観光や飲食の分野では、人の出足はすぐに戻ってくると思われるが、仕事に関しては、テレワークやオンライン会議は当たり前になっており、完全に元に戻ることはないのではないかと思う。ただ、オンラインだけでのやり取りには、情報量に限界があるので、オンラインとリアルをうまく組み合わせることが重要であり、仕事でも人の往来がつくれるよう考える必要がある。

有限会社 井上誠耕園

代表取締役社長　井上 智博

事業概要　農業法人会社、
オリーブ・柑橘栽培

家業である農業を引き継いだ頃、島を訪れるお遍路さんに販売網を見出し、通信販売によりオリーブ製品を広く展開するようになった。これからの農業は、観光と密接に連携することが必要である。遊休農地を農地に再整備すれば、その景観が観光の目玉となる。小豆島の地は斜面が多く、生産コストもかかるが、小豆島を訪れた方々に生産にかかる手間を感じていただくことで、小豆島農産物の価値を理解してもらう。観光と農業がうまく絡んで小豆島を観光立島にしたい。

知事　観光が盛んになれば企業ブランドの向上につながり、産業の活性化は人の往来の形で観光にもプラスになる、というように観光と産業には相互作用があると考える。東京で県産品をセールスする際に、商品のPRだけではなく、瀬戸内海の景観やアートも併せて行う方がいいとの御意見をいただいたこともあり、産業と観光の両輪でうまく展開していきたいと考えている。

かがわ産業情報21 2023年 4 月号 vol.88掲載